

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公表番号】特表2000-515123(P2000-515123A)

【公表日】平成12年11月14日(2000.11.14)

【出願番号】特願平10-500198

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 211/58

C 0 7 D 211/72

【F I】

C 0 7 D 211/58

C 0 7 D 211/72

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月14日(2004.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 16 年 4 月 14 日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成 10 年特許願第 500198 号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 ビーエーエスエフ アクチェンゲゼルシャフト

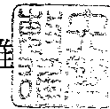
3. 代理人

住所 東京都港区西新橋 2 丁目 7 番 4 号

ドクトル・ゾンデルホフ法律事務所

電話 03 (3503) 3303 (代表)

氏名 (6181) 弁理士 矢野 敏雄



4. 補正により増加する請求項の数 0

5. 補正の対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

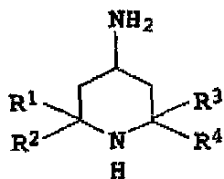
7. 補正の内容

別紙の通り



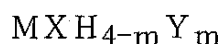
請 求 の 範 囲

1. 式 I :



I

[式中、 $R^1 \sim R^4$ は $C_1 \sim C_6$ -アルキルであり、 R^1 および R^2 および/または R^3 および R^4 は、共に 2～5 個の炭素原子を有する CH_2 鎖である] のピペリジンの二量化を減少させる方法において、ピペリジンに、式：



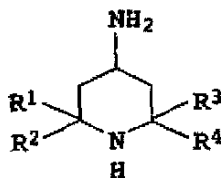
[式中、M はアルカリ金属、 NR_4 (式中、R は、同じかまたは異なった $C_1 \sim C_4$ -アルキル基である)、等価のアルカリ土類金属または等価の亜鉛であり、X はホウ素またはアルミニウムであり、Y は CN であり、かつ m は 0 または 1 である] の還元剤をピペリジンに対して 0.001～0.2 重量% 添加することとを特徴とする、ピペリジンの二量化を減少させる方法。

2. R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 が $C_1 \sim C_3$ -アルキルである、請求項 1 記載の方法。

3. 式： $MXH_{4-m}Y_m$ の化合物がホウ水素化ナトリウムである、請求項 2 記載の方法。

4.

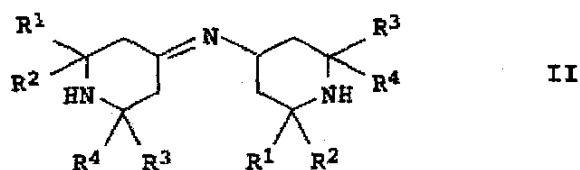
A. 式 I :



I

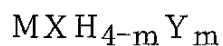
[式中、 $R^1 \sim R^4$ は $C_1 \sim C_6$ -アルキルであり、 R^1 および R^2 および/または R^3 および R^4 は、共に 2～5 個の炭素原子を有する CH_2 鎖である] のピペリジン、

B. Aに対して1～1000ppmの、式II:



の化合物、および

C. Aに対して0.001～0.2重量%の、式:



[式中、Mはアルカリ金属、 NR_4 (式中、Rは同じかまたは異なった $\text{C}_1\sim\text{C}_4$ -アルキル基である)、または等価のアルカリ土類金属もしくは等価の亜鉛であり、Xはホウ素またはアルミニウムであり、YはCNであり、かつmは0または1である]の還元剤、

を含有する混合物。

5. R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 が $\text{C}_1\sim\text{C}_3$ -アルキルである、請求項4記載の混合物。

6. 式： $\text{MXH}_{4-m}\text{Y}_m$ の化合物がホウ水素化ナトリウムである、請求項4または5記載の混合物。

7. 請求項4から6までのいずれか1項記載の混合物の、HALS化合物の製造のための使用。